校長だより【65】第73回卒業証書授与式　校長式辞　030306

庭園の紅白の梅の花や、木々の芽吹きに、春の息吹を感じる季節となりました。一年前、臨時休業が始まった頃、校門脇で寂しく咲いていた山茱萸（さんしゅゆ）のレモン色の花も、今が満開、再び学び舎に集えた皆さんを祝福しています。

本日、ここに、神奈川県立厚木東高等学校、第73回卒業証書授与式を挙行するにあたり、本校PTA、常盤会、王子会など、準備に多大なるご協力をいただきました全ての皆さまに深く感謝申し上げます。
今回新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、昨年度に引き続き、卒業式の規模や時間を縮小して実施することとなりました。様々な制限があり、従来通りに行えないことは誠に残念ですが、今年度は保護者の皆さまとともに一堂に会することができました。各ご家庭１人ずつ、狭く寒い体育館とご不自由をおかけしますが、保護者の皆さんにご参加いただけたことを、大変喜ばしく思います。
どうか今日のこの時間を、時代の転換期を前に、一つのステージをクリアして次の舞台にステップアップしようとしている子どもたちの姿を静かに見つめ、その旅立ちを共に祝福する大切な時間にしたいと思います。

ただいま266名の卒業を認めました。第73期生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。様々なことにチャレンジし続けた３年間を経て、大きな自信と誇り、達成感を抱いて、今日の日を迎えたことと思います。また、保護者の皆様におかれましては、担任の呼名に、凛として立つお子様の晴れの姿をご覧になり、今日の日を迎えられたお喜びと感慨は、ひとしおのことと拝察いたします。こんにちまで皆様に賜りましたご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、３年前入学式で私は、みなさんに「3つの力をつけて欲しい」という話をしました。①勉強し続ける力②人とつながる力③挑戦する力、この３つの力です。また、３年間という与えられた時間

を、自分はどのように懸命に生きたのか、命そのものである時、時間を主体的に語れるように過ごして欲しい、とお願いしました。
　以来皆さんは、勉学に部活動に学校行事にと、仲間と共に切磋琢磨しながら、真摯に自己を見つめ、激変する社会にあって、自分は何をして生きていくのか？という、自立への問いに答を求め、模索の旅をしてこられました。今、皆さん一人ひとりに達成感はあるでしょうか？　３つの力は身についたでしょうか？　東高に来て良かったと言っていただけるような、素敵な時を駆け抜けてこられたでしょうか？

　73 期生の皆さんは、令和という新時代を迎えてまもなく、高校生活の最終局面で思いもかけぬコロナ感染症という天災に見舞われました。部活動の総仕上げとして目標としていた大会や発表会、最上級生としてリードするはずだった体育祭の中止に愕然としたことでしょう。新入試制度での進路選択で正念場となる年に、なぜ自分たちが 100 年に一度の難局に苦しまなければならなかったのか、やり場のない失望感に悔し涙を流し、いつ終わりが来るともしれない社会の閉塞感に苛まれ、いまなお憂鬱な日々を過ごしている人も少なくないでしょう。またそれを、見守るご家族にもそれぞれのご苦労があり、ご心配が絶えない日々だったことでしょう。
　そのような中で、家族一丸となって、万全の感染防止対策に努め、自身が決定した進路目標に向かって果敢に挑んだ 73 期生の皆さん、皆さんは本当によく頑張りました。「ほめよう私たちを！」という広告が年末に話題になりましたが、正に、「私たちはよくやった！」と、自信を持ってほめてよい一年だったと思います。改めて、皆さんが本日まで、ひた向きに積み重ねて来られた努力と頑張りに心からの敬意を表します。また一般入試をひかえ、今まさに最後の追込みに全力を尽くしている諸君へは、職員一同と共に、大いなる応援のエールを贈ります。

　さて、卒業生のみなさん、努力は嘘をつかないと言いますが、世の中は不条理に満ちています。変化が激しく、予測のつきにくい社会にあって、他者への甘えを断ち切り、自立への道を歩む過程では、辛いできごともたくさんあるでしょう。発明王として有名なトマス・エジソンは、「待っている間も、頑張る人に、全てのものがやってくる。(Everything comes to him who hustles while he waits.)」と言いました。どんなに困難な時でも、次のチャンスの到来に備え、寸暇を惜しんで努力し続ける人に、ご

褒美はきちんと用意されると、私も信じます。人が見ていようが、いまいが、今はまだ成果が出ていなくとも、未来を信じ、希望を持って頑張り続ける人には、必ず全てのものが与えられると、そう信じます。

エジソンはまたこうも言いました。「私たちの最大の弱点は、あきらめることにある。成功するのに最も確実な方法は、常にもう一回だけ試してみることだ。（Our greatest weakness lies in giving up. The most certain way to succeed is always to try just one more time.）」

皆さんはこれからも、人に揉まれ、痛い目に遭い、また人の優しさにも触れて、いわゆる社会勉強を積んでいくことでしょう。これから日々遭遇する出来事がどんなに大変で、どうしたらよいかわからず、世の中の全ての人から見放されたように思う時も、決して自分で自分を見捨てることがない人でいてください。辛い時には、「厚木東で挑戦！」というスクールモットーとコロナの年に精一杯頑張った自身を思い出し、何事も決してあきらめずに、「もう一度だけ頑張ってみよう！」と思い直してみてください。

私たちはついつい、現状の不満ばかりに目を向けて、努力を怠り、誰かのせい、何かのせいにしたがる傾向にあります。作家井上靖は「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」という言葉を残しました。人や世の中に不平を言うことは簡単です。しかし、あなたはそれを変えるために、自分自身、振り返って、何をしたでしょうか？　文句を言うだけで何もしないのであれば、それは自分が行動しないことへの言い訳でしかありません。「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」どうか、折に触れてこの言葉を思い出し、今の自分はどちらを口にしているのか、自分自身に問いかけてみてください。

皆さんがた、一人ひとり、だれもが、自ら幸せな人生を切り拓いていく力を持っています。皆さんが 100 年の人生で、たくさんの希望を語り、挑戦し続けるひとであることを願って、私から皆さんへの、はなむけの言葉といたします。卒業、おめでとう！

令和３年３月６日
厚木東高等学校
第 35 代校長　村越　みどり

山茱萸（さんしゅゆ）　花言葉は「持続」「耐久」「強健」「成熟した精神」「気丈な愛」

Everything comes to him who hustles while he waits.

（待っている間もがんばる人に全てのものはやってくる。）

Our greatest weakness lies in giving up. The most certain way to succeed is always to try just one more time.

（私たちの最大の弱点はあきらめることにある。成功するための最も確かな方法は、常にもう一度だけ挑戦してみることである。）

Thomas Edison

努力する人は希望を語り、
怠ける人は不満を語る。

井上 靖